

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	重心児・医療的ケア児のデイサービスにじいろ			
○保護者評価実施期間	令和8年3月1日		～	令和8年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名児童ご家族	(回答者数)	9部
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～	令和8年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師・理学療法士・保育士・訪問医師などの専門職が連携し、多角的な支援を行なっています。 また、 <b>小児分野の臨床経験を持つ看護師</b> が在籍しており、医療的ケアや体調面に配慮した安心・安全な支援を提供しています。	看護師・理学療法士・保育士などの専門職が日々情報共有を行い、体調や発達状況に合わせた支援を検討しています。 3か月毎に支援内容を評価・検討し、一人ひとりに合った関りを行えるようにしています。	職員間での情報共有や、月に1回のケース検討会議を行い、より質の高い支援につなげています。 地域の研修会には事業所職員が必ず参加し、専門職としての知識や技術の向上に努めています。
2	<b>1日5名程度の少人数制</b> に対して支援職員を1対1の割合で配置し、丁寧な支援を行っています。また、受け持ち担当者が児童と保護者さまのニーズに寄り添いアセスメントや評価を行いながら支援しています。	お子さまの小さな変化にも気づけるよう職員間での情報共有をこまめに行い、安心して過ごせる環境づくりを心がけています。一人ひとりのペースに合わせて落ち着いた環境の中で支援しています。	定期的に保護者さまとの面談機会を設け、保護者さまの意向や心配事などを共有していただくとともに、事業所内での支援内容を丁寧にご説明しています。支援内容を具体的に理解していただくことで、保護者さまの安心に繋がっています。
3	家庭状況に配慮した柔軟な送迎体制を取り入れています。 学校・保育園・自宅など、 <b>その日の家庭状況に合わせた送迎対応</b> を行い、利用しやすい環境づくりを大切にしています。	保護者さまや学校と連携し、その日の体調や家庭状況を確認しながら送迎場所や時間調整をしています。 保護者さまの負担軽減や利用しやすさにつながるよう、可能な範囲で柔軟に対応しています。	保護者さまや学校や園との連携を大切にし、お子さまご家庭の状況に合わせた利用ができるよう努めています。 保護者さまのレスパイト目的での利用を推奨し、利用しやすい環境づくりを継続しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童が少人数のため、集団活動の機会が限られる場面があります。改善にむけ、お子さまの発達や体調に考慮しながら無理のない範囲で集団活動や関りの機会を取り入れています。また、にじいろ直方との2事業所間での交流等を検討をしています。	重心型の児童発達支援と放課後等デイサービスであり、お子さま一人ひとりの状況に合わせて職員が1対1で丁寧に対応している場面が多いため。	昨年度にじいろが参加した地域の子どもイベントなどへの参加を今後も積極的に検討していく。 地域でのイベントに参加してもらうことは子どもたちにとって普段と違う刺激を受ける良い機会となった。 また、保護者さま同士の交流の機会にもつながった。
2	地域との交流機会が十分とはいええない。毎月外出計画を立て、必ず月に1回は大きな外出活動や行事参加ができるように取り組んでいる。慎重な計画が必要なため安全面に十分配慮し、季節のイベントや遠足などの行事を増やしていき子どもたちに楽しい思い出を作ってもらいたいと考えています。	主に医療的ケア児や重症心身障がい児のお子さまを中心に1対1での個別の関りが必要な児童を対象にしているため、児童の体調や医療的ケアの必要性、安全面への配慮から外出や地域交流の機会が限られる場合がある。	児童の体調や安全面に十分配慮しながら、地域のイベントや行事などへの参加を検討し、地域との関りを持つ機会を少しずつ増やしていく。また、地域との交流の機会やごきょうだいの参加できる家族交流会を通して、保護者さま同士の交流や情報共有の場にもつなげていく。
3			